

熊田葦城 くまが かしやう 史論家。文久二年六月備後生れ（八六二丁）。講重宗、字義郷、通稱宗次郎。別號はらのや春雄、はらのの産はる雄、はる雄、千代園主人、腹の産春雄、葦城居士、葦城處士等。

著書 『明治才媛美譚』（熊田宗次郎名、明治二十二年五月、千七百博文館）、『阿部伊勢守』（明治二十四年十月、千四百博文館「少年讀本」）、『女武士道』（明治四十一年二月、千四百大地堂）、『日本史蹟・天』（明治四十一年十一月、千四百昭文堂）、『日本史蹟赤穂義士』（明治四十四年一月、千四百昭文堂）、『日本史蹟・白蓮上人』（明治四十四年十一月、千四百報知社）、『幕府瓦解史・前編』（大正四年九月、千四百有朋堂書店）、『觀樹將軍縱橫談』（編、大正十二年十一月、千四百實業之日本社）、『名人白話』（大正十五年二月、千四百春陽堂）、『日本史蹟大系・第一卷』（昭和十年五月、千四百半丸社）等。

